

コンクリート構造物のリニューアルと耐久性向上

背面注入工法【オーロラA工法】

地下コンクリート構造物の背面に高炉スラグ微粒子注入材を躯体室内側より注入して、防水層の劣化した地下構造物やコールドジョイントなどの不具合部のある地下構造物の躯体リフレッシュを行う補修工法です。

「背面注入工法」は、広範囲及び小面積どちら施工性にも優れ、注入材はプレミックスタイプで水を加え容易に注入充填でき、高強度、高耐久性の硬化体を形成して躯体補修する、技術的に一步進んだ補修工法です。

- ◎特長
- (1) 既設コンクリートと一体性に優れ、高強度補修体が施工できる。
 - (2) 注入圧力、注入量が確認でき、施工管理が容易にできる工法である。
 - (3) 躯体室内側より施工するため、仮設設備が不要で施工性が優れている。
 - (4) 流動性に優れ、作業性の良い注入材料で確実な充填施工ができる。
 - (5) プレミックスモルタルで施工品質が安定し、コストはセメント系で経済的である。
 - (6) 既設コンクリートに漏水、背面還流水があっても施工できる。
- ◎適用
- (1) 建築地下コンクリート躯体の止水、漏水補修、防水劣化対策。
 - (2) 大型土木地下構造物の止水、漏水対策。施工目地の劣化止水対策。
 - (3) 大型受水・配水槽の止水、漏水対策。
 - (4) 海洋構造物、護岸擁壁などの充填補強・補修。背面地山対策。
 - (5) 橋梁、橋脚、ボックスカルバートなど道路設備。補修・補強対策。

